

やまもり通信 11

vol.63

黄色、オレンジ、茶色。
葉っぱが色づいてきました。



【加子母の風景】国道から小さな坂道をのぼると二渡の観音堂です。

岐阜と愛知の美味しいものが勢ぞろいする「ぎふ・あいち冬の直行便 岐阜県・愛知県観光物産展 2020」を今年も下記の日程で開催されることになりました。

飛騨牛コロッケに岩魚の塩焼き、みたらし団子に五平餅など食欲をそそる岐阜の味覚が目白押し。ほかにも岐阜県各地から柿羊羹や赤かぶの漬物、朴葉みそといった岐阜の特産品の販売ブースに加え、愛知県の物産ブースもずらりと並びます。

今年は新型コロナウイルス感染防止のためステージイベントは無いのですが、大阪で岐阜や愛知の味覚を楽しめるのはうれしいですね。彩都やまもりの「岐阜ふるさと祭り」でおなじみのお店も数多く出展されますよ。

「この時期、まだ旅行はちょっとなあ・・・」とためらわれている関西在住の方、ぜひ物産展に行ってみてください。

- 《開催日》 令和2年 11月14日(土)～15日(日)
- 《開催時間》 1日目:10:00～18:00(予定)
2日目:10:00～17:00(予定)
- 《場所》 せんちゅうパル南広場
(大阪府豊中市、千里中央駅すぐ)
- 《主催》 一般社団法人岐阜県観光連盟
- 《共催》 一般社団法人愛知県観光協会



昨年の様子



OKB八百屋 本店

2020年3月にオープンしたOKB八百屋 本店。OKB農場の農産物をはじめ、地元の生産者などから直接仕入れた野菜や魚を販売。惣菜・弁当などの加工食品は地元のお客さまと共同開発しています。

【運営：株式会社 土里夢ファーム】

OKB 大垣共立銀行

彩都やまもり ひとこと日記

大工さんとかな削り体験

10月3日、4日に開催した「やまもり市」にて、ワークショップも同時開催しました。

3日(土)は「木端 de 雑貨づくり」、4日(日)にはほんものの大工さんに来てもらい、岐阜のひのき、杉、サワラの違いの説明を受けたあと、一緒にかんな削りを体験してもらいました。大工さんがかんな削りをしているのを見ると簡単にできそうなのですが、実際は結構な力が必要で、みなさん思いのほか難しい、、、と苦戦していました。削ったかんなくずはポプリやお花飾りにして持ち帰って頂きました。

おこさまから大人の方まで楽しそうに参加されていて、わたしたちスタッフもうれしかったです。彩都やまもりが木のいい香りに包まれほんわかした1日となりました。11月の「やまもり市」では積み木づくりを行う予定ですので、ぜひみなさまあそびにきてくださいね!あっという間に売り切れてしまった栗きんとんもまた販売しますので楽しみに!



こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

<今月のギャラリー案内> 彩輝館ギャラリー

「岐阜の味覚楽しむ食欲の秋」を開催します。

【期間】11月4日(水)～12月14日(月)

新型コロナウイルスで今年中止になってしまった彩都やまもりの「岐阜ふるさと祭り」。お祭りで本来楽しめるはずだった岐阜の味覚・特産品を期間限定・数量限定で販売します。

「GoTo トラベルキャンペーンを利用しても、まだ旅行はちょっと・・・」と思われる方も、これから岐阜を旅行しようと思っている方の前情報としても是非この機会にギャラリーをのぞいてみてください。



《彩都やまもり今月のイベント》

新型コロナウイルス感染防止策を取りながら下記イベント開催を予定しています。

「やまもり市」

①販売コーナー

大工さんの手作り屋台が目印。朴葉寿司をはじめ岐阜の特産品や東濃ひのきの木工品などを販売します。下記の期間は、ギャラリー企画と並行して、種類も豊富におうちで楽しめる各地の味覚をご提供します。



②木工体験コーナー

11月のやまもり市では、「無垢の積み木づくり」体験を開催します。ひのきや杉などの木端を使った積み木をご自身の手で完成させてみませんか。かわいい巾着入りでお持ち帰りいただけます。

【日時】 11月7日(土)、8日(日) 9:30～15:00頃

12月5日(土)、6日(日) 9:30～15:00頃

【場所】彩都やまもり敷地内



※新型コロナウイルスの影響で、中止や内容変更になる場合があります。最新情報は随時彩都やまもり HP (<https://yamamori.site>) や facebook でご確認ください。



【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)



●2020年度関西岐阜企業交流会(いちい会) 定期懇親会開催しました。

関西岐阜企業交流会(いちい会)の2020年度の交流会を9月30日(水)、会員20人が参加して大阪駅前第一ビルの中華料理「神仙閣」で開催しました。

会長の中島紀子(中島工務店社長)の開会挨拶につづいて高野文男神戸岐阜県人会会長(神戸東亜特機)の乾杯で懇親会が始まりました。コロナ禍のなか出席各社の近況報告があり、それぞれオンラインの活用など知恵を出してこの難局を乗り切ろうと頑張られている様子がよくわかりました。

閉会の挨拶は徳田昭憲関西岐阜県人連合会会長代行。「今般、会員拡大の一環として、単独いちい会の会員の皆さんには大変心苦しいのですが、大阪県人会の法人会員に登録いただくようお願いし、数社のご理解をいただきました。ありがとうございます。これからは“金も出す、口も出す”の精神で、県人会、連合会の活動に積極的ご参加いただきたい」との話がありました。

なお、今回出席頂いた企業は下記の通りです。
 (株)中島工務店、神戸東亜特機(株)、アクトレップ(株)、旭紙工(株)、(株)いわさき、大垣共立銀行、岐建(株)、岐阜新聞・岐阜放送、昭和コンクリート工業(株)、中日新聞社、東神電気(株)、野田金属工業(株)、宮崎総合法律事務所、(株)市川工務店、日本インシュレーション(株)
 (順不同)



加子母の人 歴史の道11 第57回 万賀の街道の分岐点

中津川方面から加子母へ帰る時は、塞の神と飛出山という2つのトンネルを抜けてきます。この峠を越えると加子母に戻ってきたなくと、いつもほっとします。隣町との境になっている万賀地区は、街道の分岐点でもありました。「歴史の道」のページをめくると首ざらし場、はりつけ坂がかつてあったという記述もあり歴史を感じます。村はずれだったのかと思いきや、街道沿いは「万賀銀座」と呼ばれ華やかだった時代もあったようです。今回は、そんな万賀地区を紹介します。



●万賀の辻
 中津川から下呂へ向かう『南北街道』と、かしも明治座近くで南北街道を分岐して白川・八百津へ向かう『白川街道』。明治中期には、両街道の改良工事が完成し、村の交通に画期的影響を与えました。その分岐点、万賀の辻には明治42年、加子母村在郷軍人団によって道標が建てられました。高さ150センチ、幅70センチの自然石で「右白川街道志らかわやをつ、左南北街道つけちさかした」と彫られています。昭和34年になると、輸送機関の大型化で邪魔になると一旦倒されました。しかし、昭和54年に再建され、村の文化財に指定されました。飛出山下

右/万賀の辻 左/道しるべ

●道標
 国道沿いに和菓子「仁太郎」やスーパーアトラがある辺り、田んぼやビニールハウスの建っている間の道にも、小さな道標があります。「右 むらみち 左 しらかわみち」と彫っており、文字が見やすいように白く塗られています。ふとしたところに、昔の道標を見つけると、この道を昔の人が歩いてきたんだなとタイムスリップするような気持ちになります。国道ができて、車でビュンと通り過ぎてしまうことが多いこの頃ですが、ちよつと里の中を歩くだけで、昔の面影があちこちに残っています。この土地に人が暮らしてきた長い長い時間に想いを馳せると、今この瞬間に囚われていた気持ちが一瞬、緩むような不思議な感じがします。【文責 本間】

●鍵屋の辻
 飛出山の北にあり、南北街道と白川街道を結ぶ間道の辻の一つです。十三仏と南無阿弥陀仏の碑、金比羅大権現碑などがあります。

●外の辻
 飛出山の南にあり、鍵屋の辻と同じように外谷に沿う間道と南北街道との分岐点で、道標があります。



本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して24年目。古楽器奏者の夫と娘と日々ハタタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://tebakko.jp>

